

市の危機管理と災害対策は



すがわら けいこ 議員(新世会)

質問 短時間に避難を必要とする市民へ情報伝達、周知の在り方は迅速にできるか。FM放送は聞けない地域があるが。

市長 緊急告知ラジオ、緊急速報メール、ホームページ、ツイッター、広報車あらゆる手段を用いている。

質問 危機管理に関して男性、女性両方の視点から考え協議発信されているか。防災会議の委員49名中女性は何名だけだか。

市長 東日本大震災後に見直しを行い避難所運営に際して女性の参画促進に努めた。

質問 防災会議委員の下部機関としてあらゆる分野からの女性の参画は出来ないか。

市長 委員任期が平成30年2月までなので難しい。
質問 指定管理を受託した



災害時の避難場所になっている地区センター

振興会と災害協定の締結、避難所運営の指揮体制を整えた。委嘱状をもらっても研修、訓練がされていない。それで避難所と言えるのか。

市長 運営マニュアルを渡したがその徹底、会議の場はなかった。周知徹底をしていないと発生したとき動けない。避難所指定への説明不十分反省している。緊密な連携をとり、説明に努めていきたい。

質問 飲料水、食糧が準備されていない。毛布、タオルもないそれで避難所といえるか。

市長 自助の考えから各家庭に備蓄についてお願いしている。災害時応援協定の事業者の要請もする。

質問 緊急で避難、とつきのときにその対応ができるだろうか。赤ちゃんのミルク用の水、病人弱者の避難、寒さや、清潔を保つために即対応できる準備をする必要があるのではないか。

市長 実際持つてくる人はほとんどいない。今回、水は使用できたが、用意するのは市と認識している。順次整備していきたい。

新市立病院は総合計画から外し十分な議論を



館山史跡公園と向山公園とをつなぐ夢乃橋

質問 戦略プロジェクトは基本計画に移し、従来のように子育てナンバーワンをはっきり打ち出し、「子育てなら奥州」にすべきと思うが。

市長 内容については人口減少対策の施策に盛り込んでいる。

質問 地区別計画を明記すべきと主張してきた。地区別計画ではなく、それに代わる方向性を今総合計画で乗せるとの約束は。

市長 位置づけを検討中であり、今総合計画に盛り込む。

質問 新市立病院を総合計画の基本計画に明記し、平成33年開院を打ち出している。競馬・土地公社・水沢病院等の赤字が市民に大きな負担となってきた。新病院の基本構想・計画が出た段階で立ち止まり、市民・医療関係者・議会関係者等への説明・議論を優先すべき。

市長 老朽化した市民病院を建て替えるが急務である。これが市のまちづくり根幹の考え、方向性である。必要性については丁寧な説明を行う。

藤原の郷と館山・向山公園の連携強化を

質問 藤原の郷への外国人観光客が増加しており、館山歴史公園・向山公園と連携し、一体的管理を充実させ、一層の増加を図るべき。

市長 観光基本計画の検討時期であり、館山公園、向山公園、高校跡地等の管理を含め前向きに検討したい。



いかわ たかし 議員(奥和会)